

都内避難者アンケート調査結果

平成 28 年 4 月

東京都総務局

I. アンケート調査の概要

(1) 目的

東日本大震災から5年が経過し、避難生活が長期化している中、都内に避難されている方々のこれからの生活のご意向を把握し、今後の支援策の参考にするため

(2) 調査方法

郵送によるアンケート調査

(3) 調査時期

平成28年2月12日～平成28年3月10日

(4) 調査対象

東日本大震災により、都内に避難されている2,445世帯の世帯主（※）

※世帯主が元の住居にとどまっている等の場合には、現在都内に避難されている方の代表者。[参考 前年調査：2,916世帯]

(5) 調査内容

避難状況、世帯主の就業状況、避難者に対する支援策、今後の生活について

(6) 回答数

1,068件(回答率：43.7%)

[参考 前年調査：1,144件(回答率：39.2%)]

※注意点

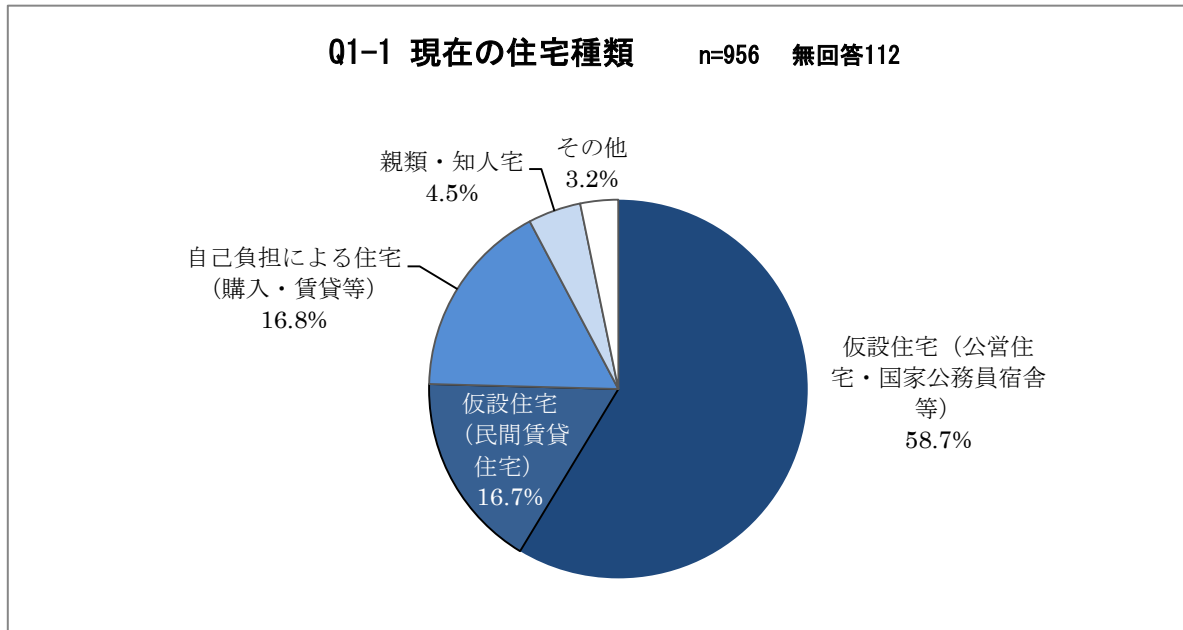
- ① 小数第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- ② 調査の一部（例えば、性別、年齢等）が未記入の回答については、可能な範囲で回答結果に反映した。例えば、Q1において、年齢不詳者の回答結果は、「全年齢」には含めているが、「59歳以下」及び「60歳以上」には含めていない。

2. アンケート調査結果

(1) ご自身及び世帯について

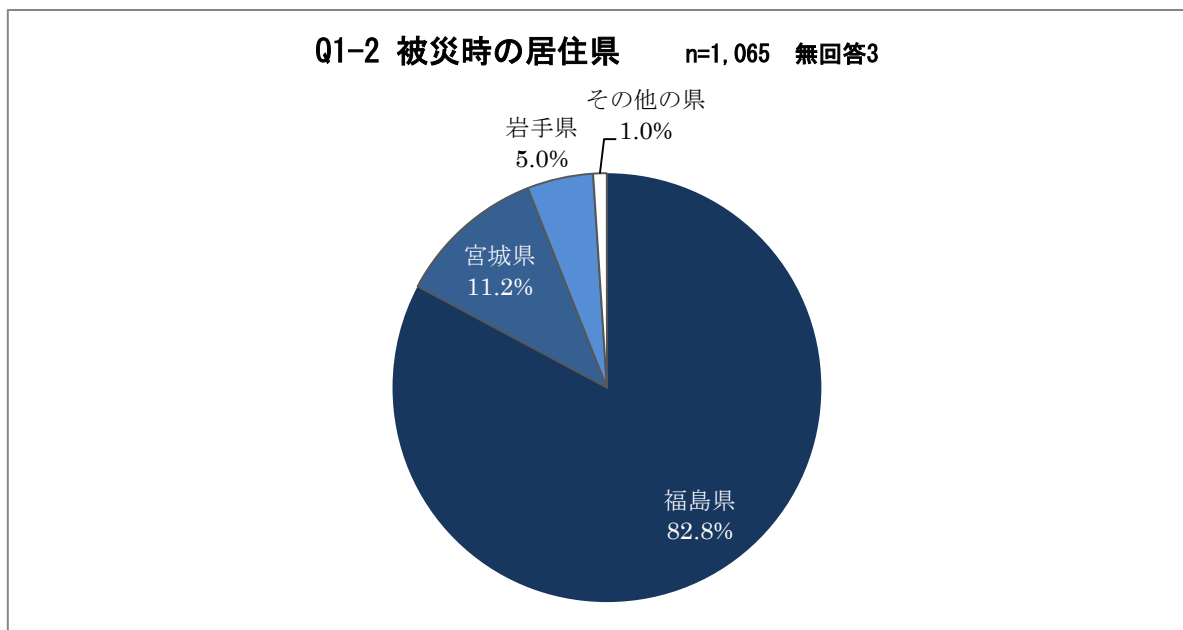
Q1-1 現在の住居の種類

現在の住宅の種類について、最も多いのが「仮設住宅(公営住宅・国家公務員宿舎等)」(58.7%)で、次いで「自己負担による住宅(購入・賃貸等)」(16.8%)、「仮設住宅(民間賃貸住宅)」(16.7%)「親類・知人宅」(4.5%)の順となっている。



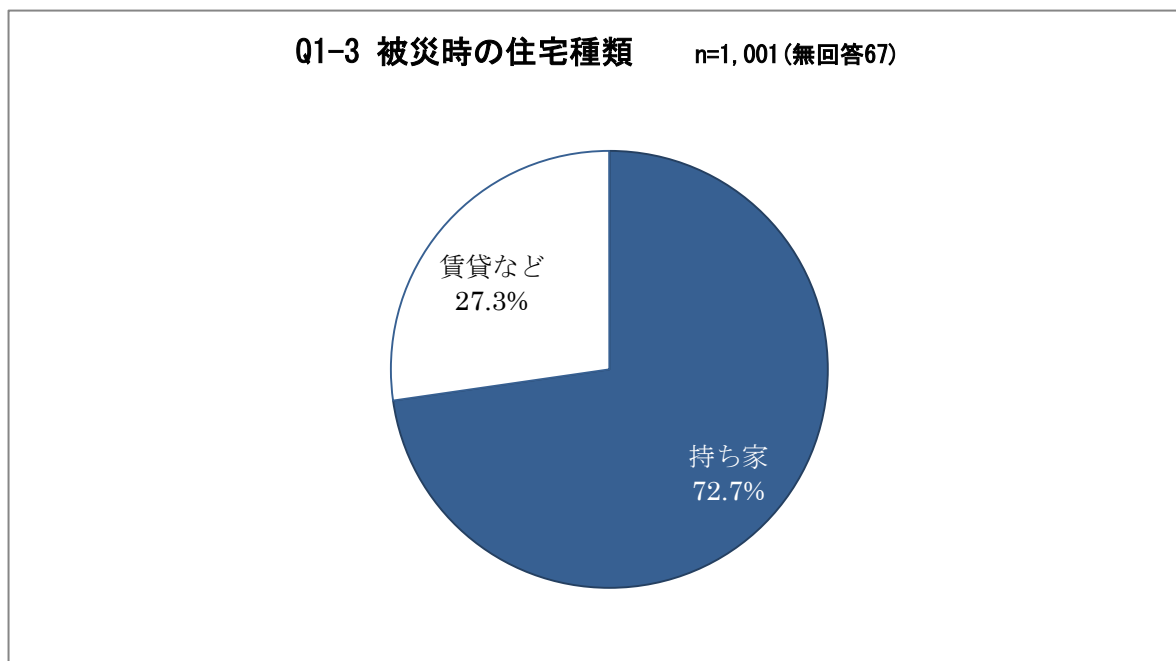
Q1-2 被災時の居住県

被災時の居住県について、最も多いのが「福島県」(82.8%)で、次いで「宮城県」(11.2%)、「岩手県」(5.0%)の順となっている。



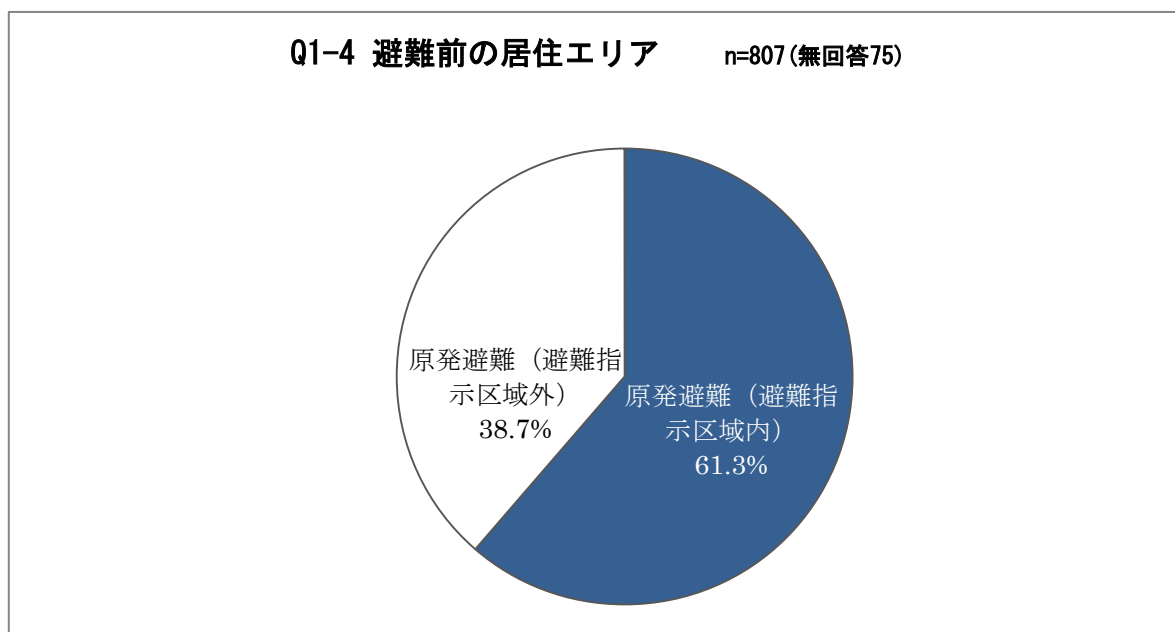
Q1-3 被災時の住宅種類

被災時の住宅種類は、「持ち家」(72.7%)が最も多く、次いで「賃貸等」(27.3%)となっている。



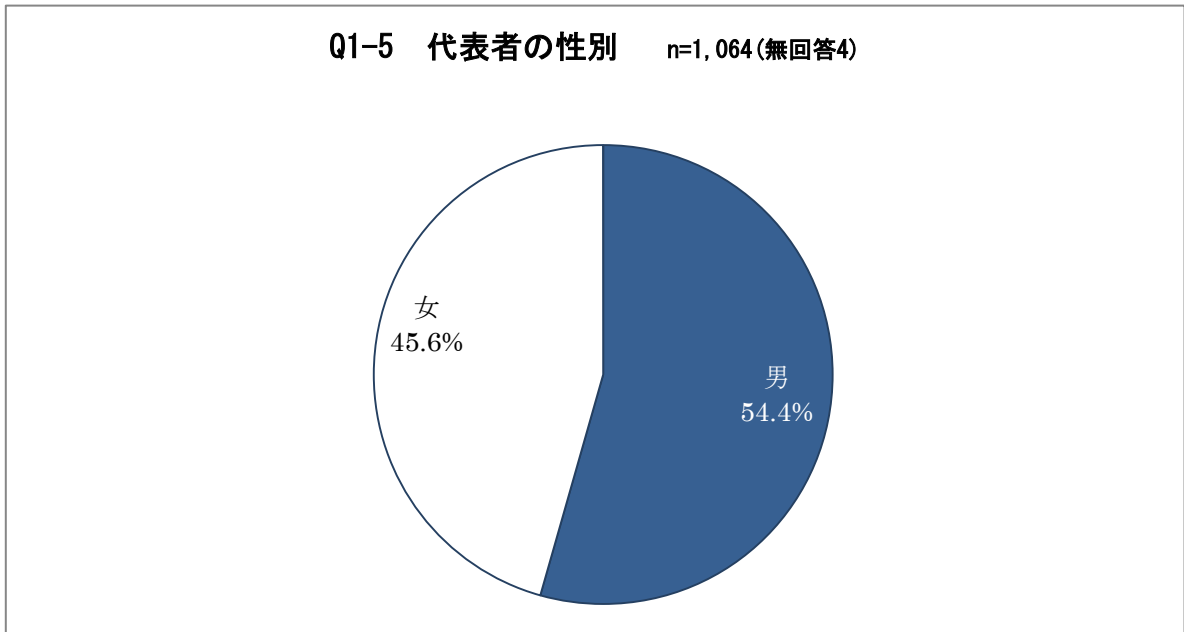
Q1-4 避難前の居住エリア

避難前の居住エリアについて、「原発避難(避難指示区域内)」(61.3%)、「原発避難(避難指示区域外)」(38.7%)であった。



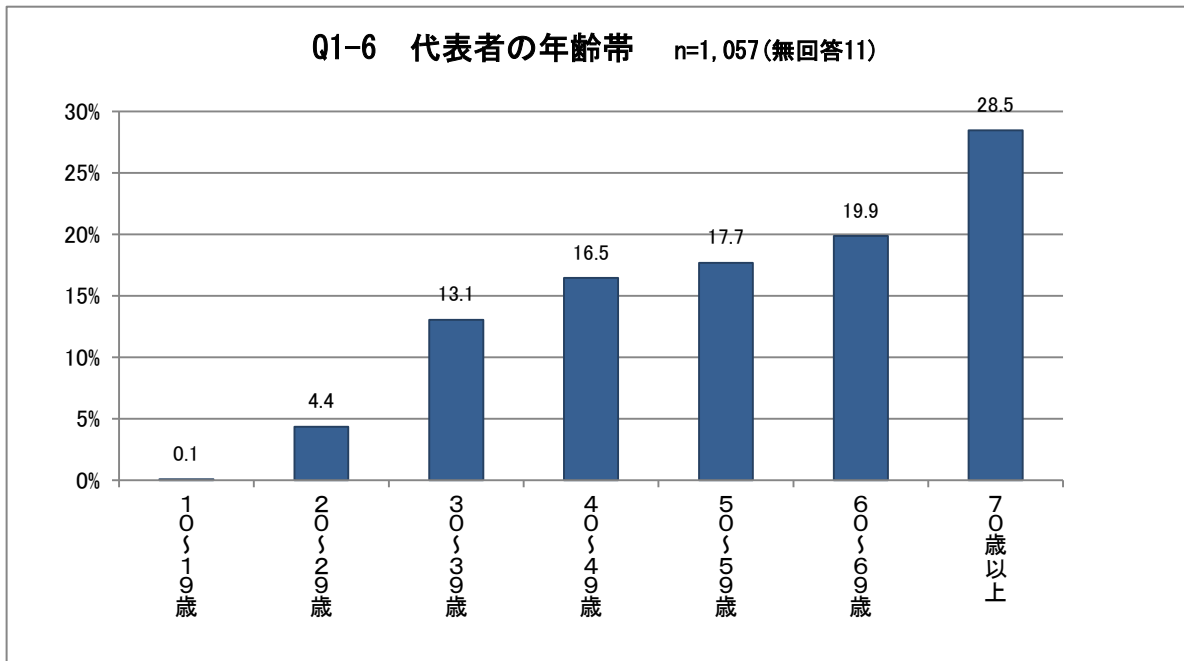
Q1-5 世帯代表者の性別

世帯代表者の性別について、「男性」(54.4%)、「女性」(45.6%)であった。



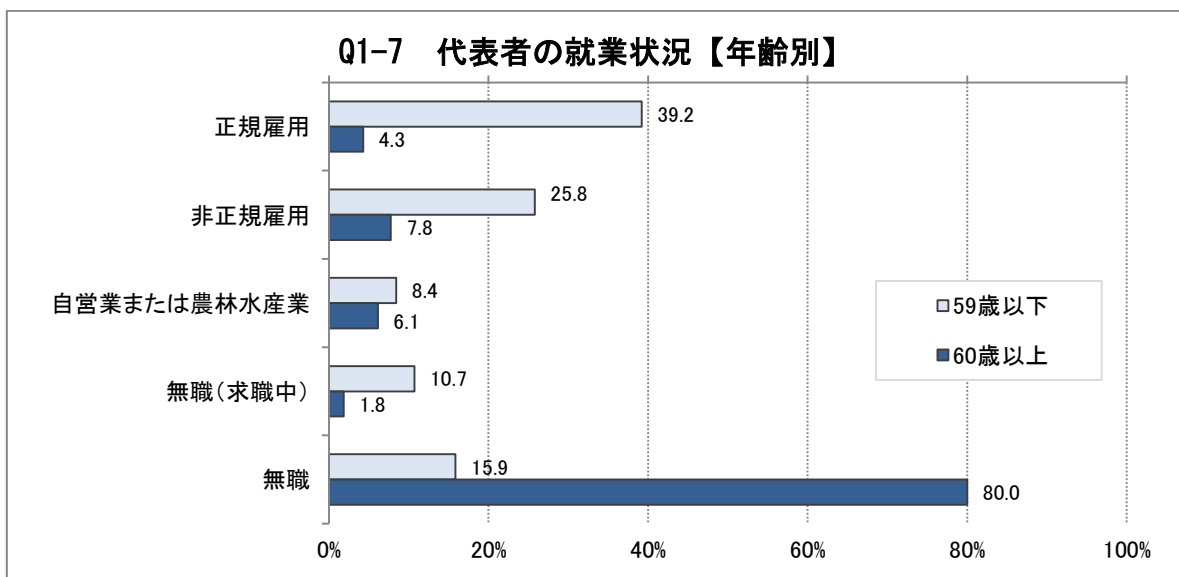
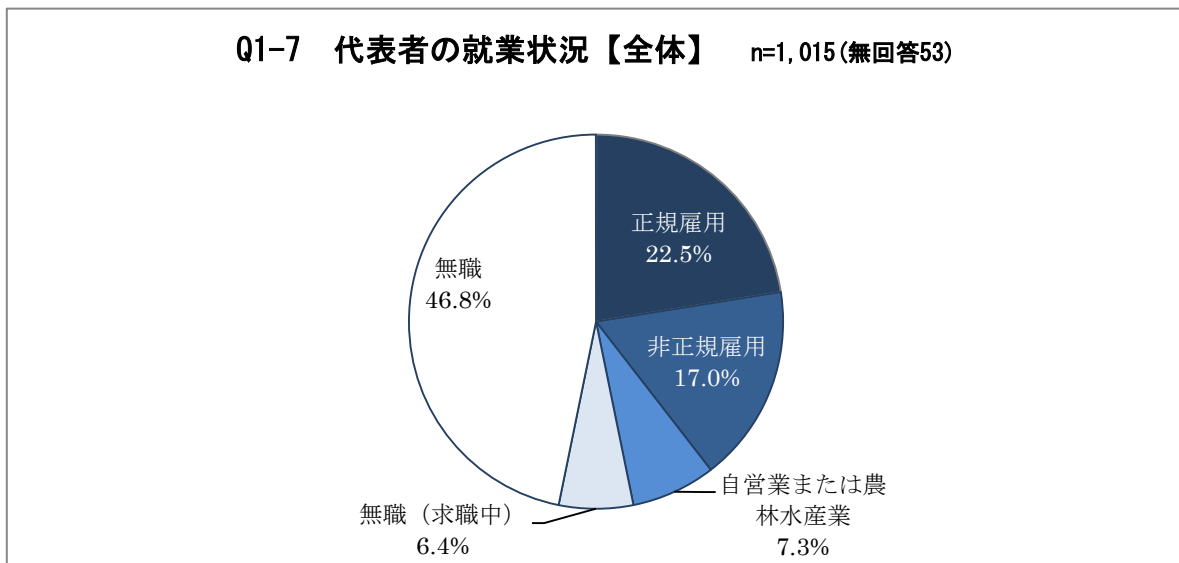
Q1-6 世帯代表者の年齢

世帯代表者の年齢について、最も多いのが「70歳以上」(28.5%)、次いで「60歳代」(19.9%)、「50歳代」(17.7%)の順となっている。



Q1-7 世帯代表者の現在の就業状況

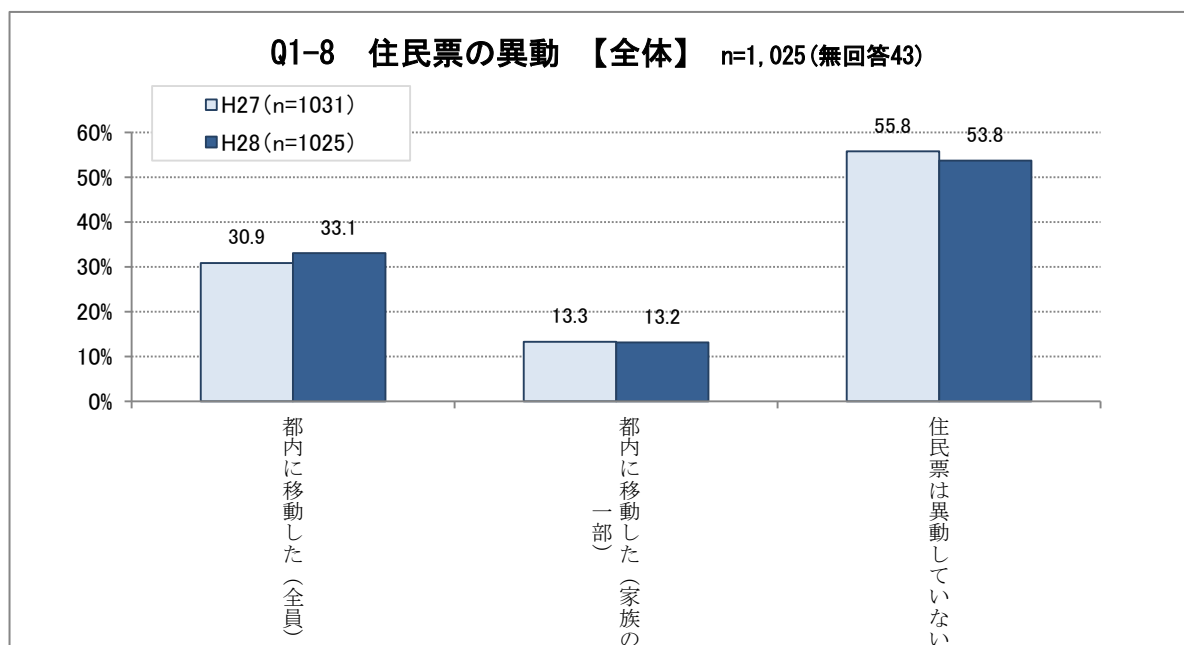
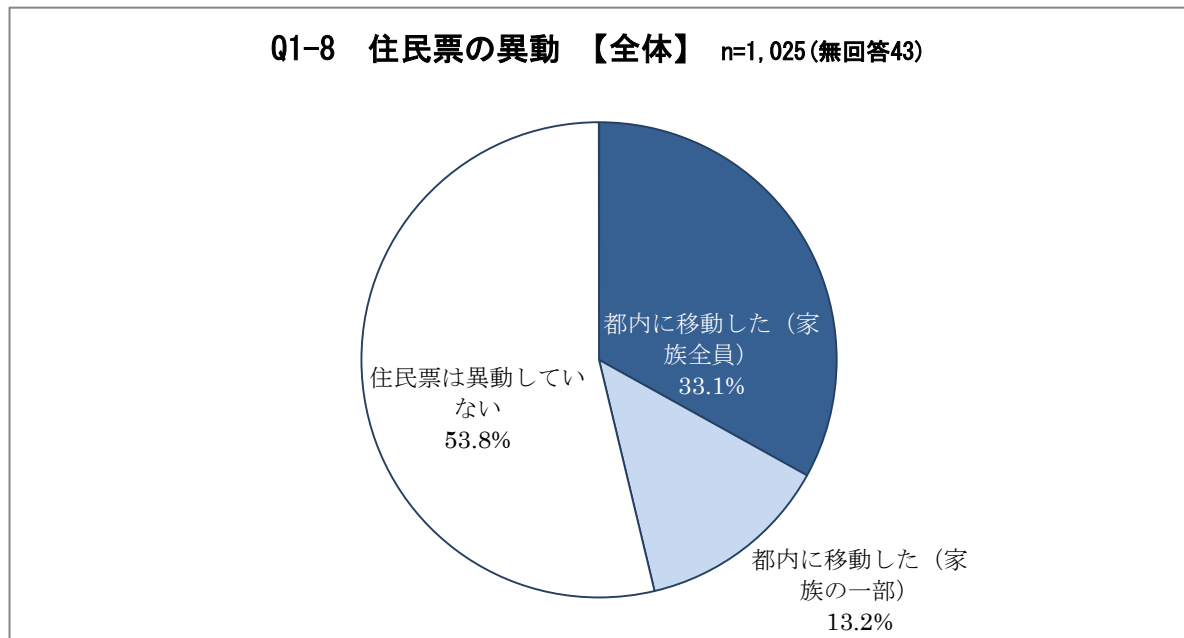
世帯代表者の現在の就業状況について、最も多いのが「無職」(46.8%)で、次いで「正規雇用」(22.5%)、「非正規雇用」(17.0%)の順であった。



Q1-8 住民票の異動

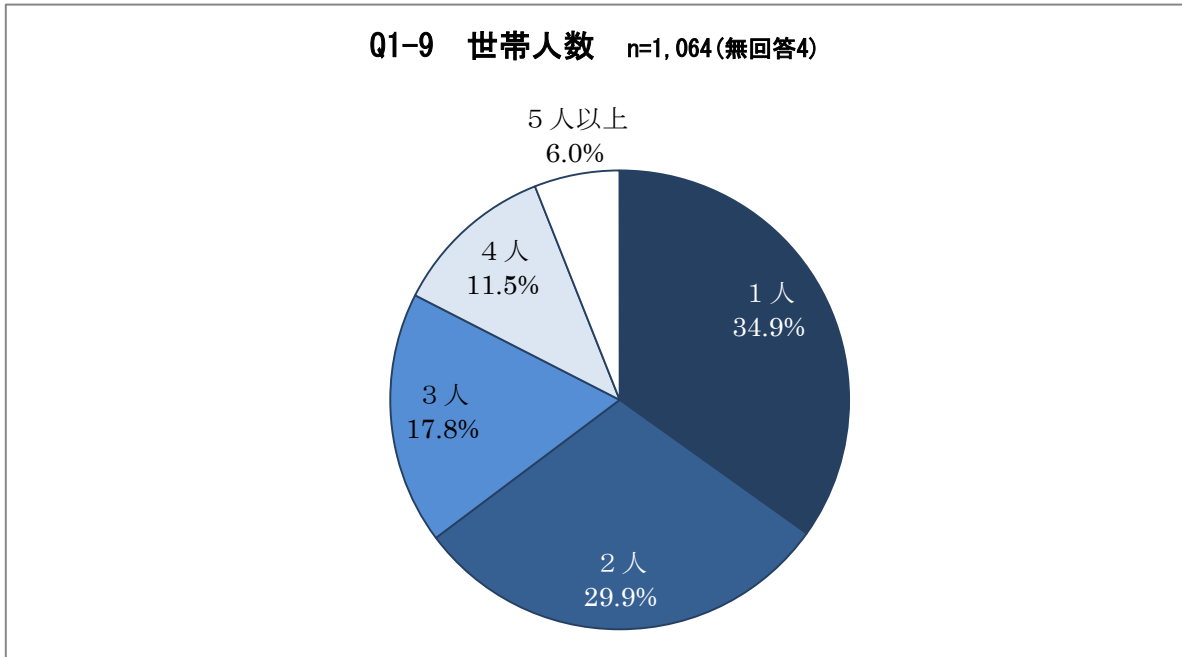
※カッコ内数字（昨年度⇒今年度）

住民票の異動について、最も多いのが「住民票は異動していない」（55.8%⇒53.8%）、次いで「都内に異動した（家族全員）」（30.9%⇒33.1%）、「都内に異動した（家族の一部）」（13.3%⇒13.2%）の順となっている。



Q1-9 世帯人数

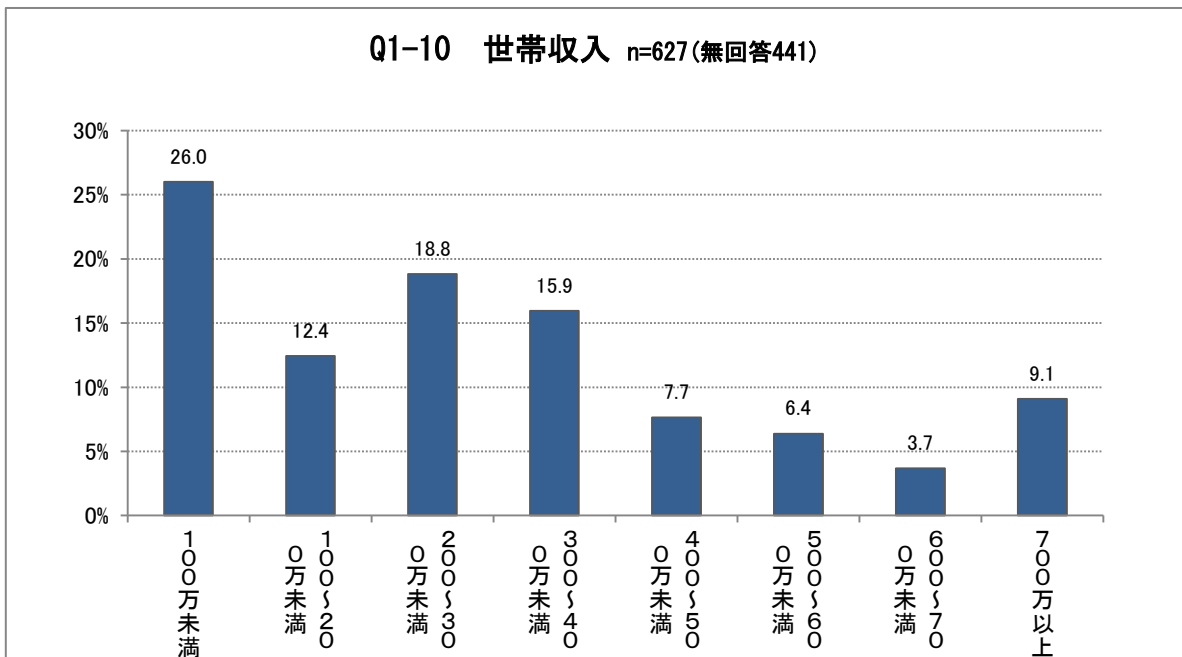
世帯人数について、最も多いのが、「1人」(34.9%)、次いで「2人」(29.9%)、「3人」(17.8%)、「4人」(11.5%)の順となっている。



Q1-10 世帯収入

(非課税所得(東京電力賠償金や障害・遺族年金・生活保護費)を除く)

年間の世帯収入について、最も多いのが「100万円未満」(26.0%)、次いで「200万円以上300万円未満」(18.8%)、「300万円以上400万円未満」(15.9%)、「100万円以上200万円未満」(12.4%)、の順となっている。

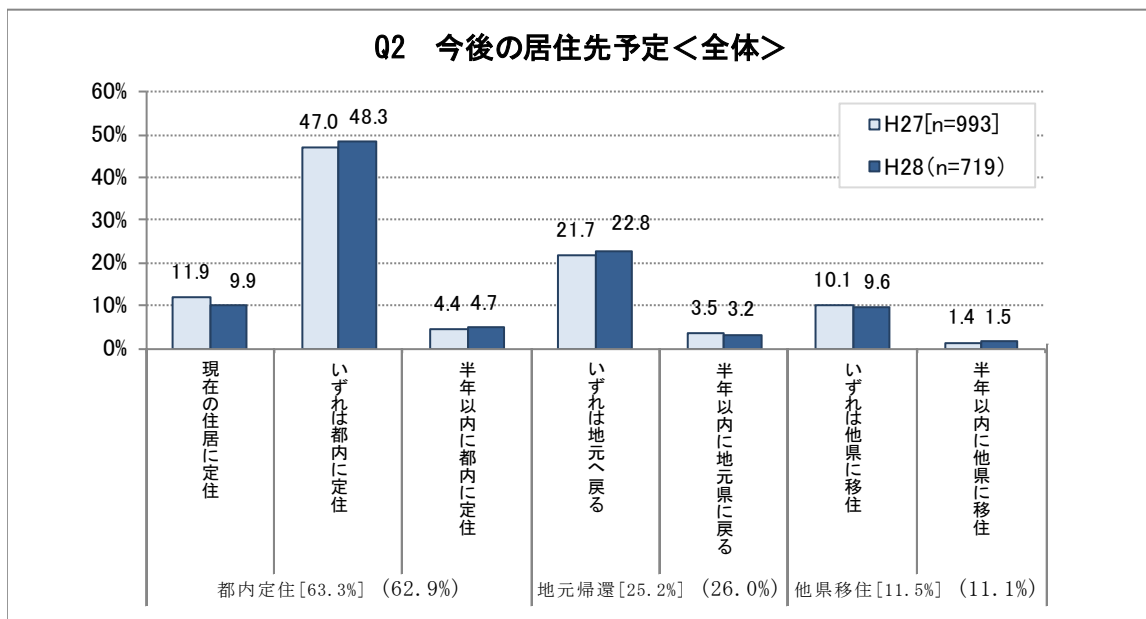


(2) 今後の生活について

Q2 今後の居住先の予定について、お答えください。

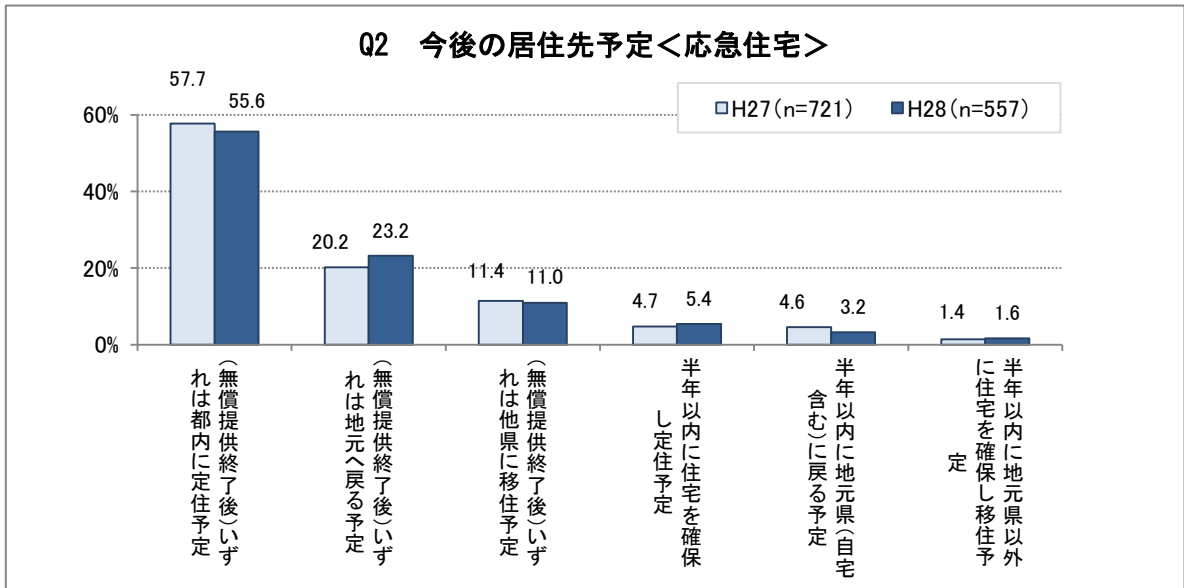
<全体>

今後の予定については、都内で定住を考えている方 (63.3%⇒62.9%)、地元県に戻りたいと考えている方 (25.2%⇒26.0%)、地元県以外の他の道府県に移住を考えている方 (11.5%⇒11.1%) となっている。



<応急仮設住宅（都営住宅や国家公務員宿舎、民間賃貸住宅等）にお住まいの方>

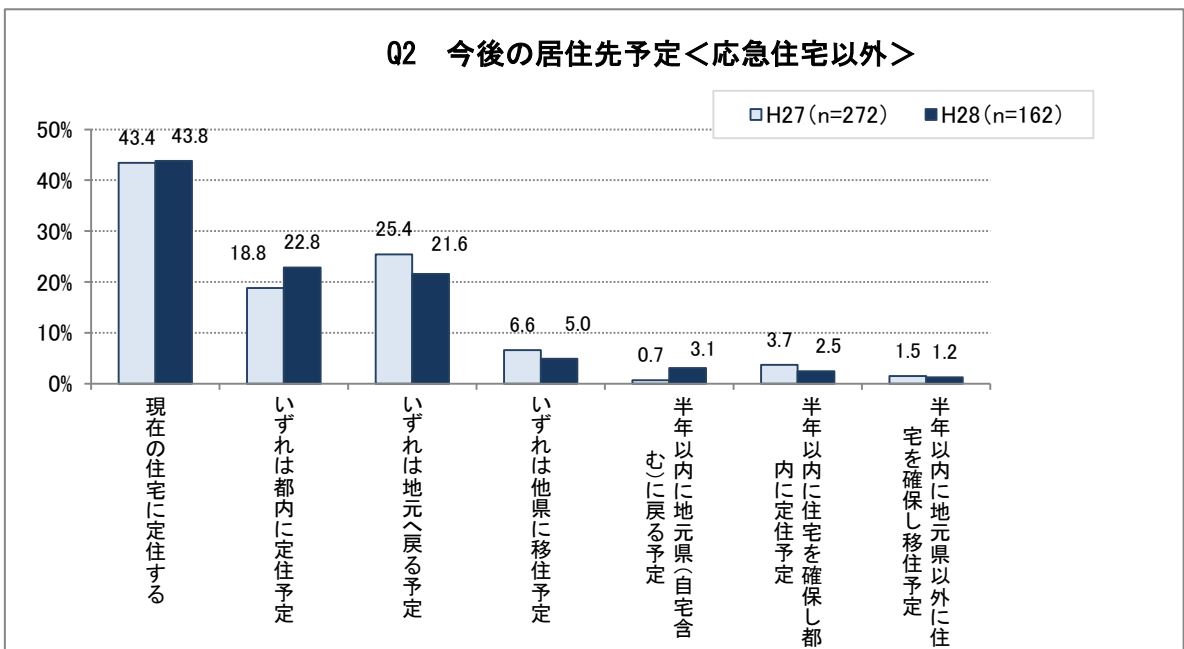
今後の予定については、最も多かったのが「応急仮設住宅が無償で提供されている間は現在の応急仮設住宅に住むが、無償提供が終了した場合には、都内に自分で住宅を確保し定住したい」(57.7%⇒55.7%)、次いで「応急仮設住宅が無償で提供されている間は現在の応急仮設住宅に住むが、無償提供が終了した場合には、地元県内（元の自宅を含む）に戻りたい」(20.2%⇒23.2%)、「応急仮設住宅が無償で提供されている間は現在の応急仮設住宅に住むが、無償提供が終了した場合には、地元県以外の他の道府県に自分で住宅を確保し移住したい。」(11.4%⇒11.0%) の順となっている。



Q2 今後の居住先の予定について、お答えください。

<応急仮設住宅以外（自分で確保した住宅または親類・知人宅等）にお住まいの方>

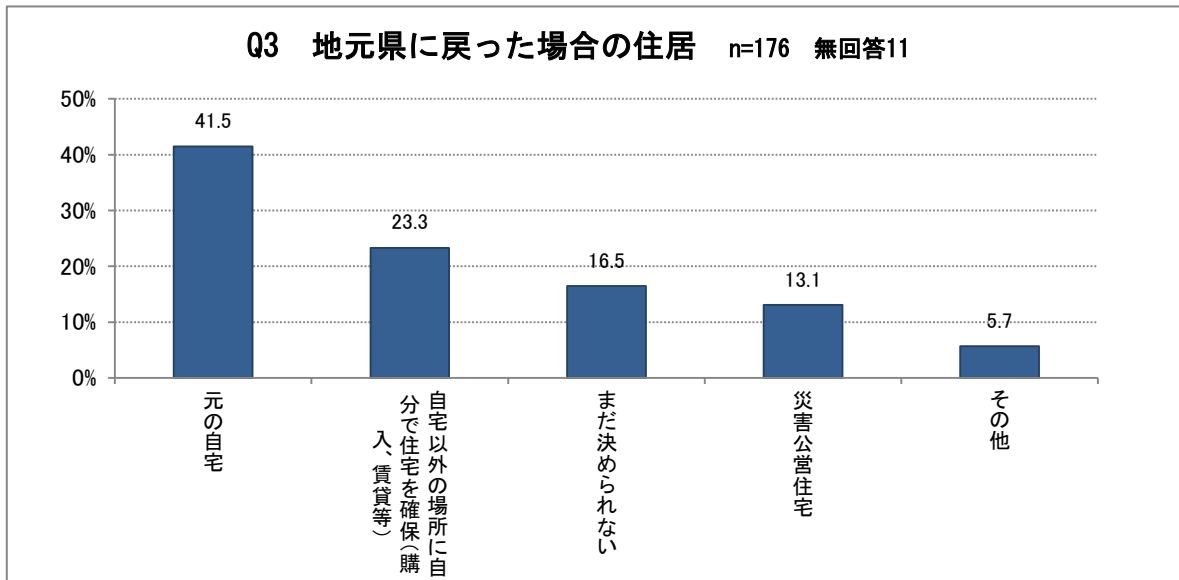
今後の予定については、最も多かったのが「現在の住宅に定住することを決めている」(43.4%⇒43.8%)で、次いで「当面は現在の住宅に住むが、いずれは都内に自分で住宅を確保し定住したい」(18.8%⇒22.8%)、「当面は現在の住宅に住むが、いずれは地元県内（元の住宅を含む）戻りたい」(25.4%⇒21.6%)の順となっている。



Q 3 Q2で[半年以内に地元県（自宅含む）に戻る予定]または[(無償終了後)いずれは地元へ戻る予定]とお答えになった方にお伺いします。

地元県内に戻る際にお考えのお住まいについて、お答えください。

地元県内に戻る際に考えている住まいについては、最も多いのが「元の自宅」(41.5%)、次いで「自宅以外の場所に自分で住宅を確保（購入、賃貸等）」(23.3%)、「まだ決められない」(16.5%)、「災害公営住宅」(13.1%)の順となっている。

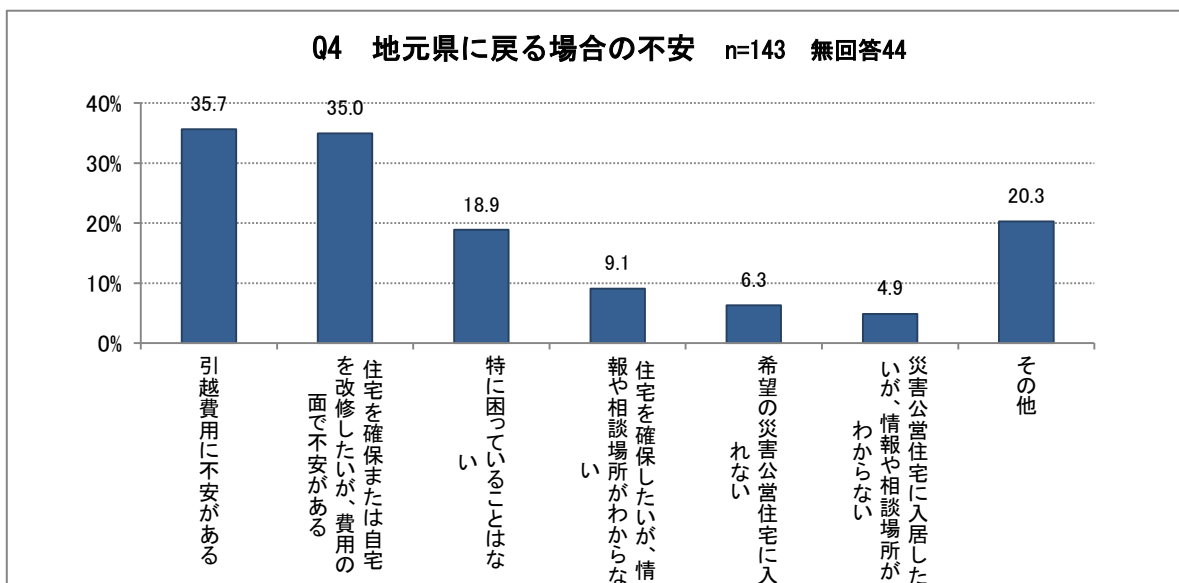


Q 4 Q2で[半年以内に地元県（自宅含む）に戻る予定]または[(無償終了後)いずれは地元へ戻る予定]とお答えになった方に引き続きお伺いします。

地元県内に戻るにあたって困っていること、不安なことについて、お答えください。

(複数選択可)

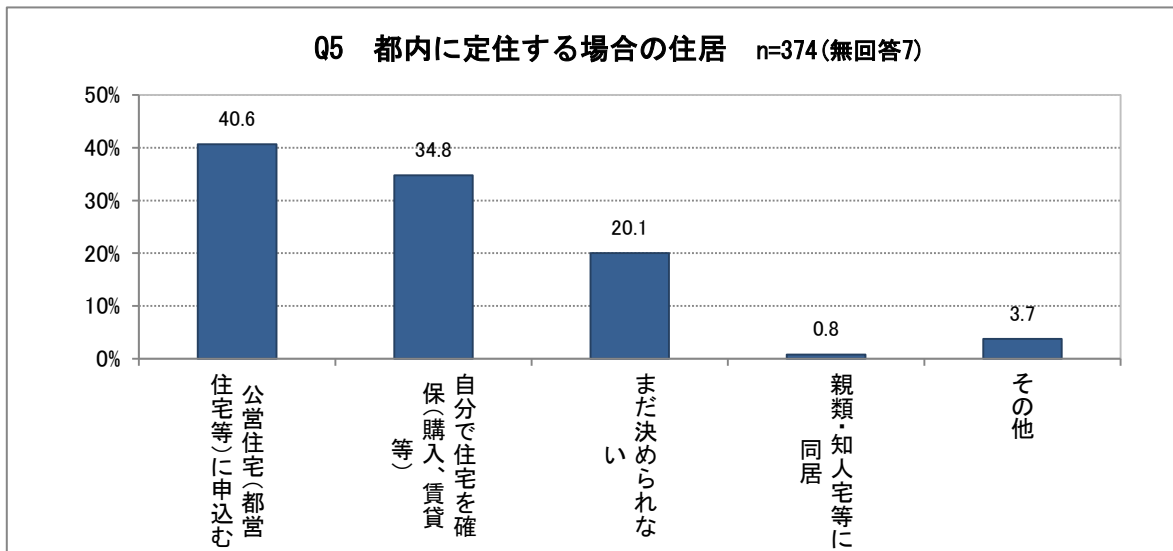
地元県内に戻るにあたって困っていること、不安なことについて、最も多いのが「引越し費用に不安がある」(35.7%)次いで、「住宅を確保または自宅を改修する費用」(35.0%)の順となっている。



Q 5 Q2で[半年以内に都内に住宅確保し定住予定]または[(無償終了後)いずれは都内に定住予定]とお答えになった方にお伺いします。

都内に定住する際にお考えのお住まいについて、お答えください。

都内に定住する際に考えている住まいについて、最も多いのが「公営住宅（都営住宅等）に申込み」（40.6%）で、次いで「自分で住宅を確保（購入・賃貸等）」（34.8%）となっている。

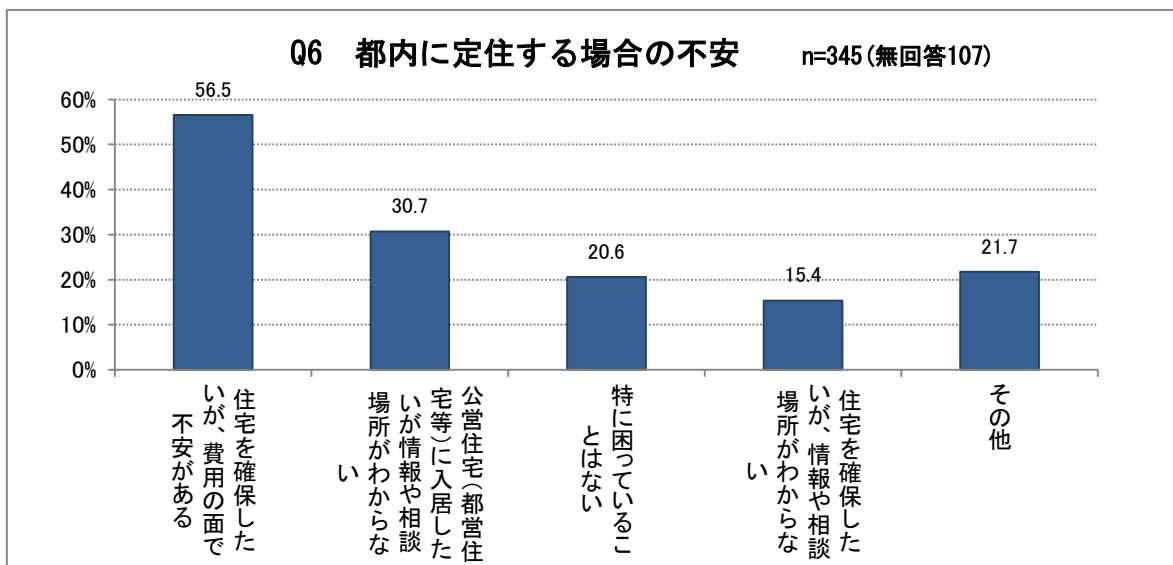


Q 6 Q2で[半年以内に都内に住宅確保し定住予定]、[(無償終了後)いずれは都内に定住予定]または[現在の住宅に定住する]とお答えになった方に引き続きお伺いします。

都内に定住するにあたって困っていること、不安なことについて、お答えください。

(複数回答可)

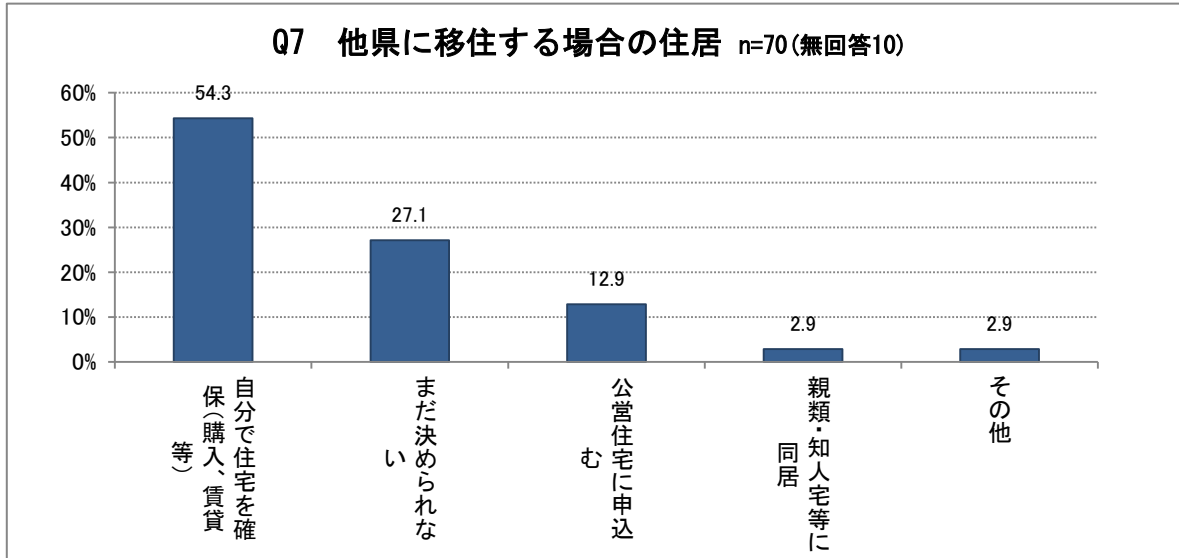
都内に定住するにあたって困っていること、不安なことについて、最も多いのが「住宅を確保したいが、費用の面で不安である」（56.5%）で、次いで「公営住宅（都営住宅等）に入居したいが情報や相談場所がわからない」（30.7%）、「特に困っていることはない」（20.6%）の順になっている。



Q 7 Q2 で[半年以内に地元県以外に住宅確保し移住予定]または[(無償終了後)いずれは地元県以外に移住予定]とお答えになった方にお伺いします。

地元県以外の他の道府県に移住する際にお考えのお住まいについて、お答えください。

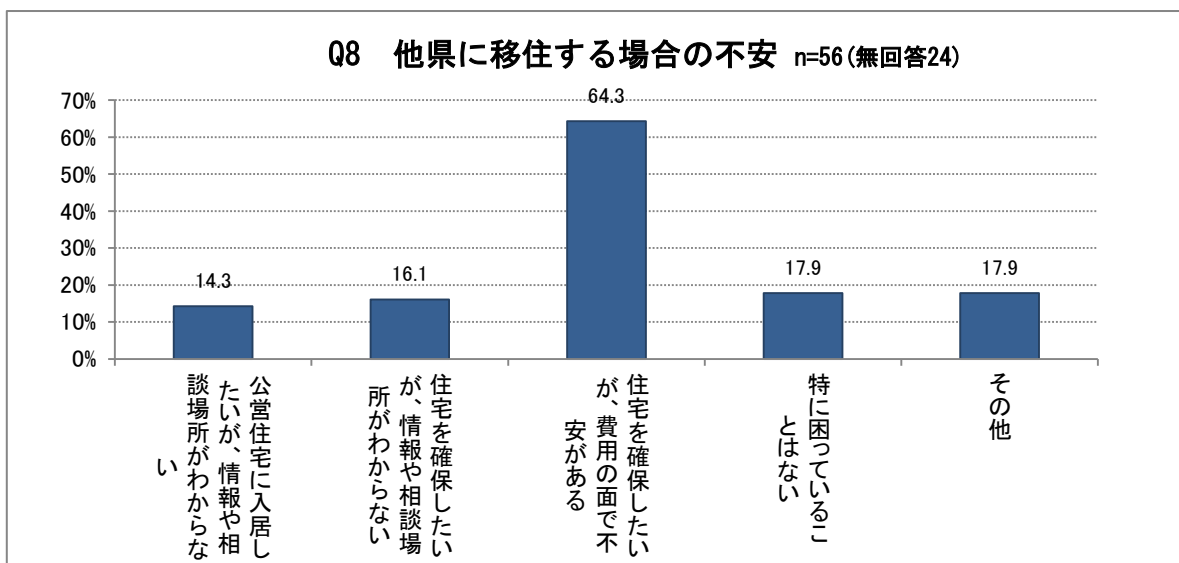
地元県外の他の道府県に移住する際に考えている住まいについて、最も多いのが「自分で住宅を確保（購入、賃貸等）」(54.3%)、次いで「まだ決められない」(27.1%)「公営住宅に申込み」(12.9%)「親類・知人宅等に同居」(2.9%)「その他」(2.9%)となっている。



Q 8 Q2 で[半年以内に地元県以外に住宅確保し移住予定]または[(無償終了後)いずれは地元県以外に移住予定]とお答えになった方に引き続きお伺いします。

地元県以外の他の道府県に移住するにあたって困っていること、不安なことについて、お答えください。(複数選択可)

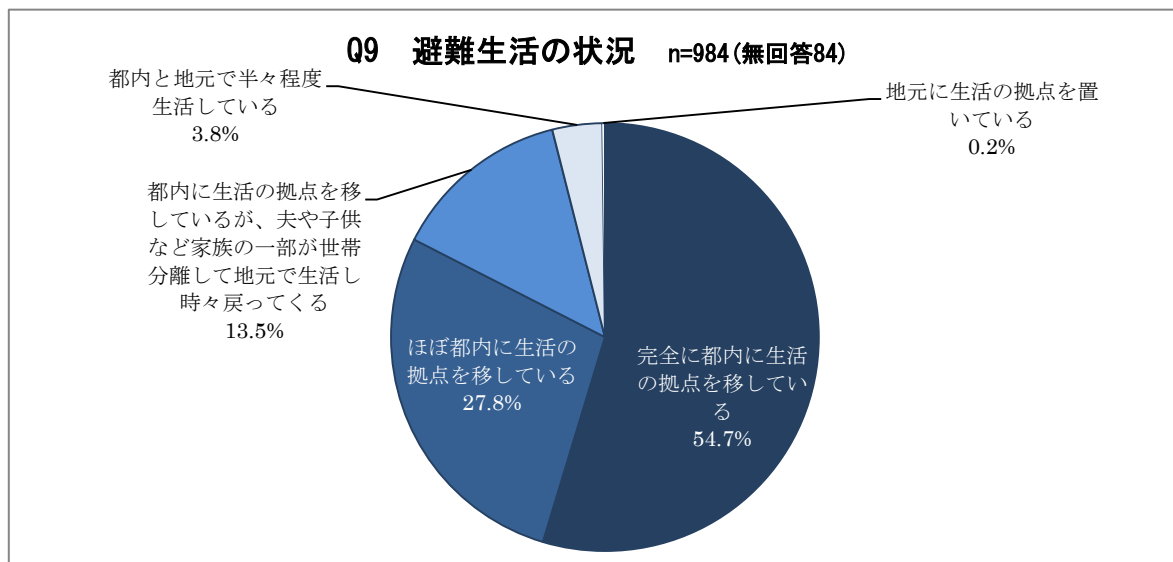
地元県外の他の道府県に移住するにあたって困っていること、不安なことについては、最も多いのが「住宅を確保したいが、費用の面で不安がある」(64.3%)、次いで「特に困っていることはない」(17.9%)「住宅を確保したいが、情報や相談場所がわからない」(16.1%)、「公営住宅に入居したいが情報や相談場所がわからない」(14.3%)の順となっている。



(3) 現在の避難状況について

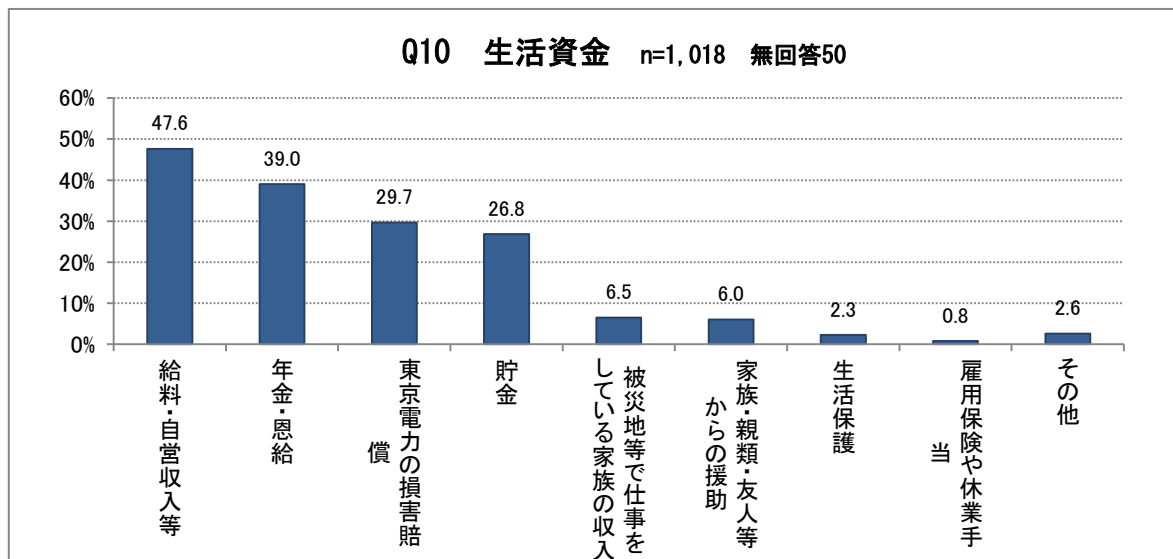
Q9 現在の避難生活の状況について、お答えください。

現在の避難生活の状況について、最も多いのが「完全に都内に生活の拠点を移している」(54.7%)で、次いで「ほぼ都内に生活の拠点を移している」(27.8%)、「都内に生活の拠点を移しているが、夫や子供など家族の一部が世帯分離して地元で生活し時々戻ってくる」(13.5%)の順となっている。



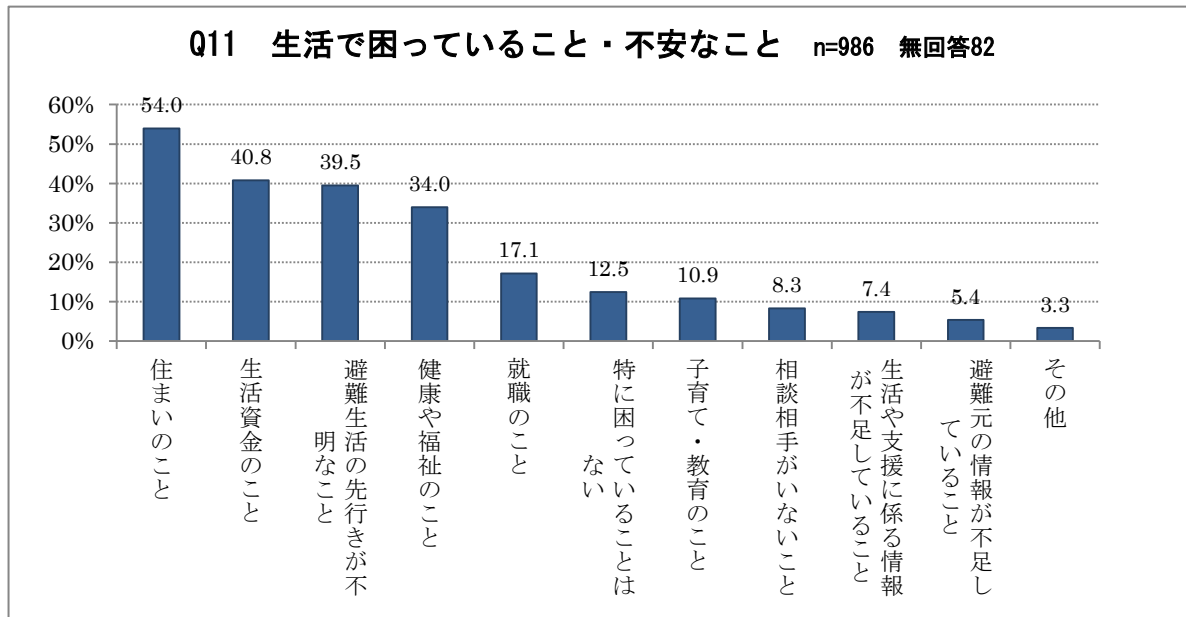
Q10 現在の生活資金について、お答えください。(複数選択可)

現在の生活資金について、最も多いのが「給料・自営収入等」(47.6%)で、次いで「年員・恩給」(39.0%)、「東京電力の損害賠償」(29.7%)、「貯金」(26.8%)の順となっている。



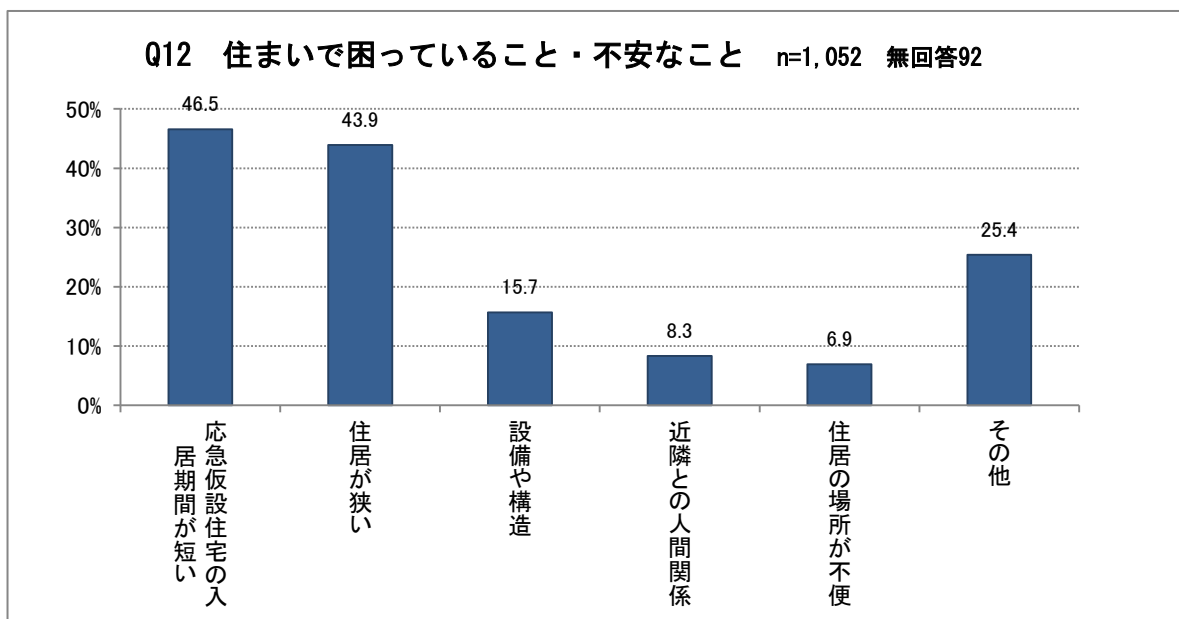
Q11 現在の生活で困っていること、不安なことについて、お答えください。(複数選択可)

現在の生活で困っていること、不安なことについては、最も多いのが「住まいこと」(54.0%)、次に「生活資金のこと」(40.8%)「避難生活の先行きが不明なこと」(39.5%)、「健康や福祉のこと」(34.0%)、「就職のこと」(17.1%)の順となっている。



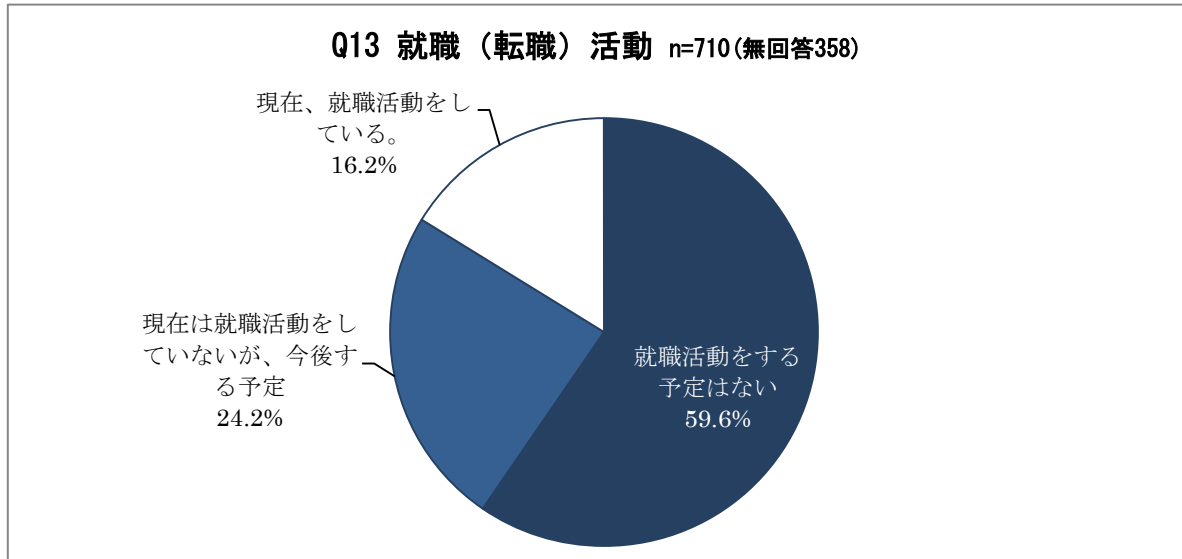
Q12 現在の住まいに関して困っていること、不安なことについて、お答えください。(複数選択可)

現在の住まいに関して困っていること、不安なことについては、最も多いのが「応急仮設住宅の入居期間が短い」(46.5%)、次いで「住居が狭い」(43.9%)、「設備や構造」(15.7%)の順となっている。



Q13 就職活動（転職を含む）をしていますか？

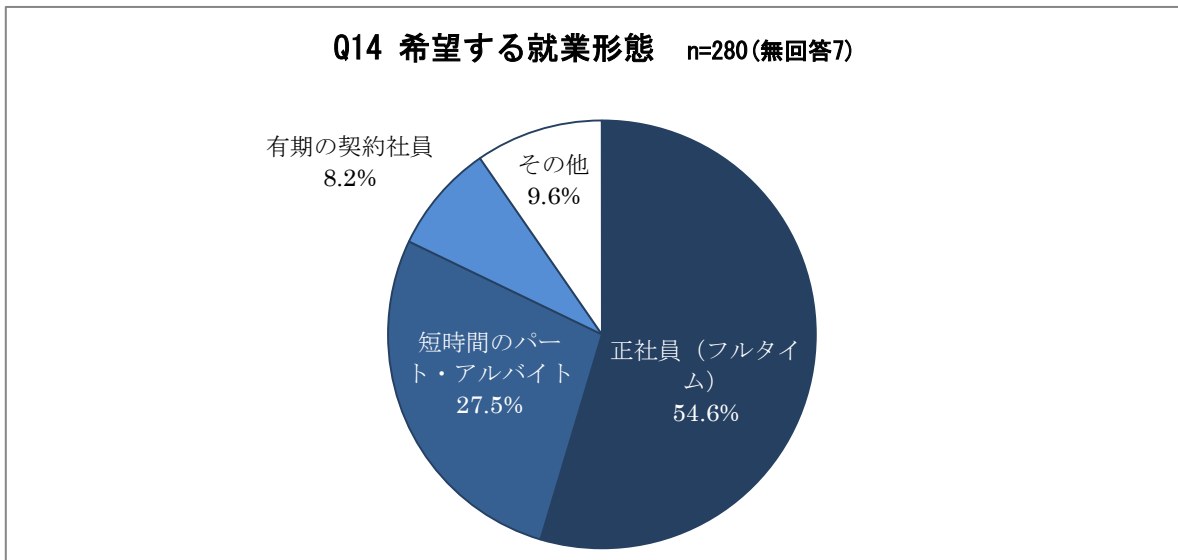
現在の就職（転職）活動状況については、最も多いのが「就職活動をする予定はない」（59.6%）、次いで「現在は就職活動をしていないが、今後する予定」（24.2%）、「現在、就職活動をしている」（16.2%）の順となっている。



Q14 Q13 で[現在、就職活動をしている]または[現在は就職活動をしていないが、今後する予定]とお答えになった方に引き続きお伺いします。

どのような就業形態を希望していますか。

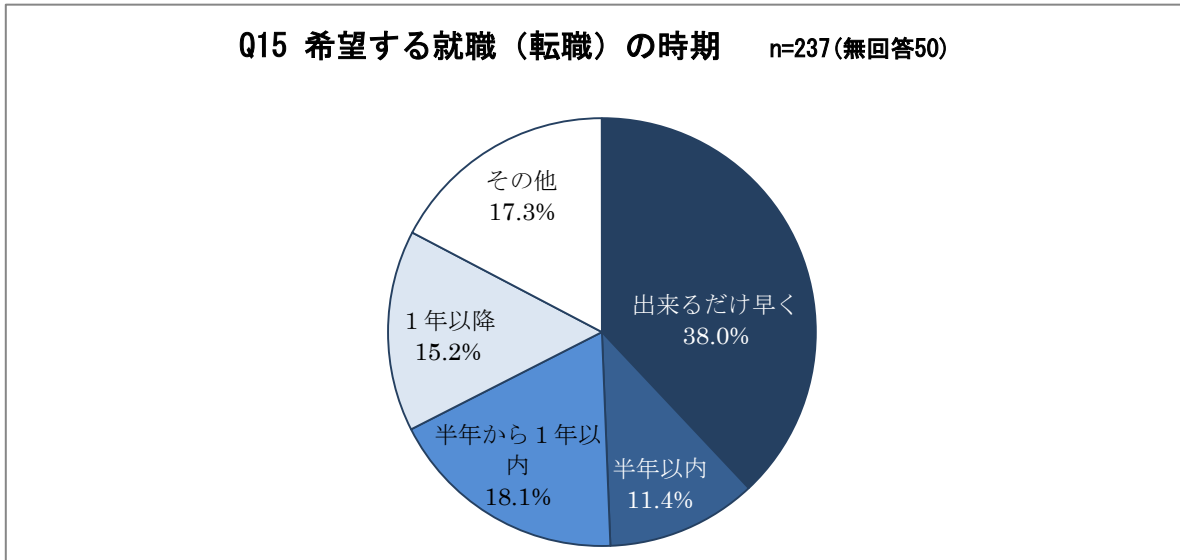
希望する就業形態については、最も多いのが「正社員（フルタイム）」（54.6%）、次いで「短期間のパート・アルバイト」（27.5%）、「有期の契約社員」（8.2%）の順となっている。



Q15 Q13 で[現在、就職活動をしている]または[現在は就職活動をしていないが、今後する予定]とお答えになった方に引き続きお伺いします。

いつ頃の就職（転職を含む）を希望していますか。

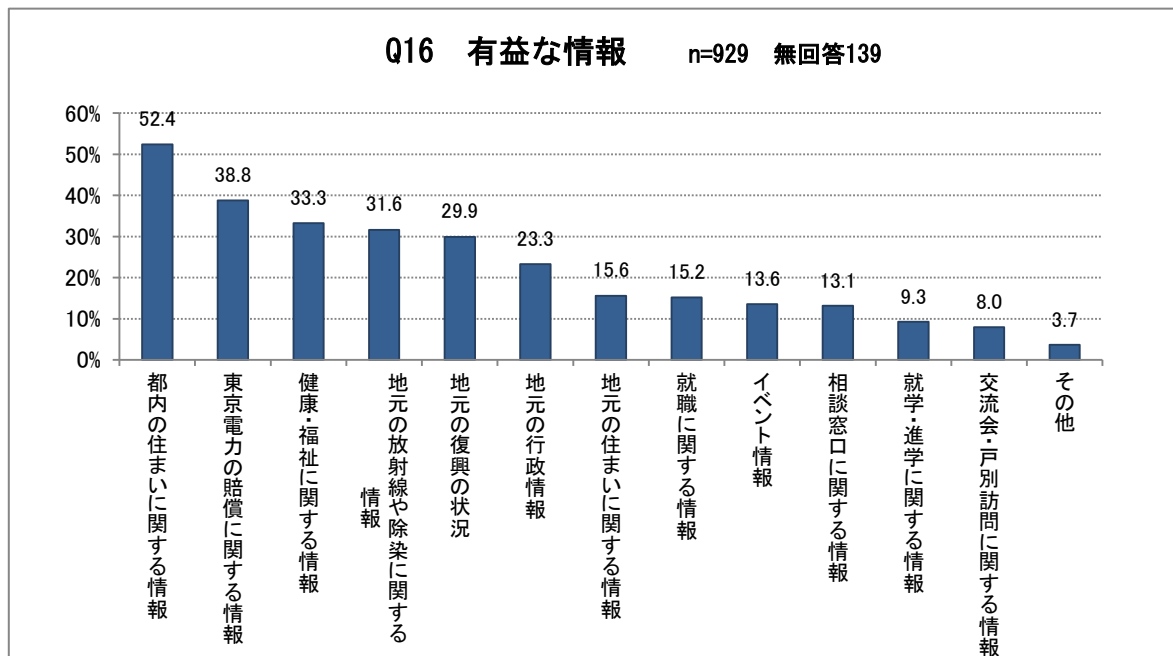
就職（転職を含む）の希望する時期については、最も多いのが「出来るだけ早く」（38.0%）、次いで「半年から1年以内」（18.1%）、「1年以降」（15.2%）、「半年以内」（11.4%）の順となっている。



(4) 支援について

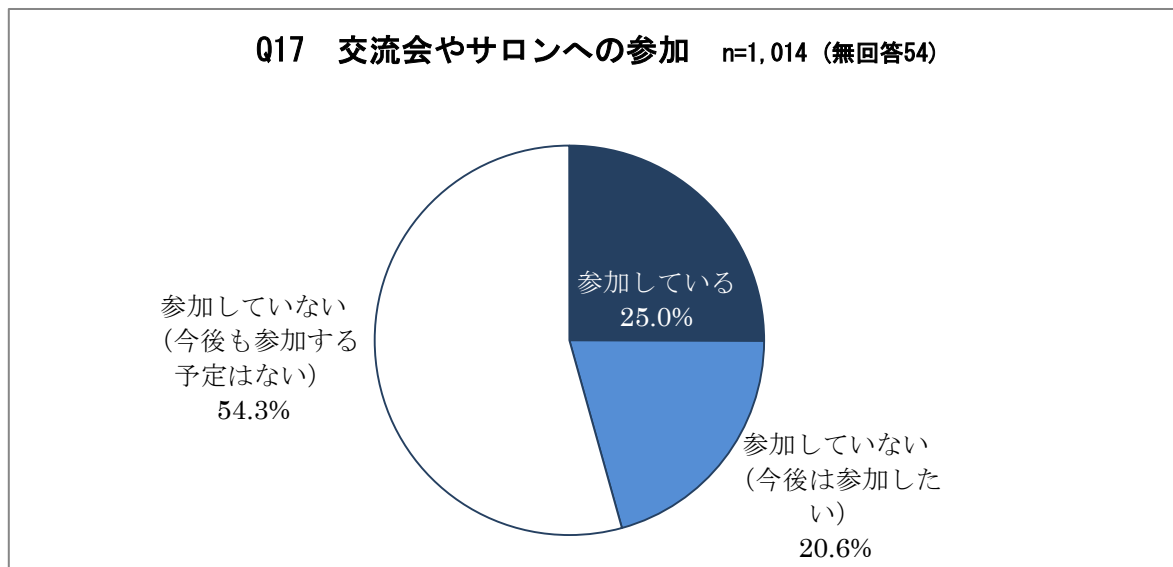
Q16 ご自身にとって、どのような情報が有益とお考えですか？（複数選択可）

自身にとって有益な情報について、最も多いのが「都内の住まいに関する情報」(52.4%)、次いで「東京電力の賠償に関する情報」(38.8%)、「健康・福祉に関する情報」(33.3%)、「地域の放射能や除染に関する情報」(31.6%)の順となっている。

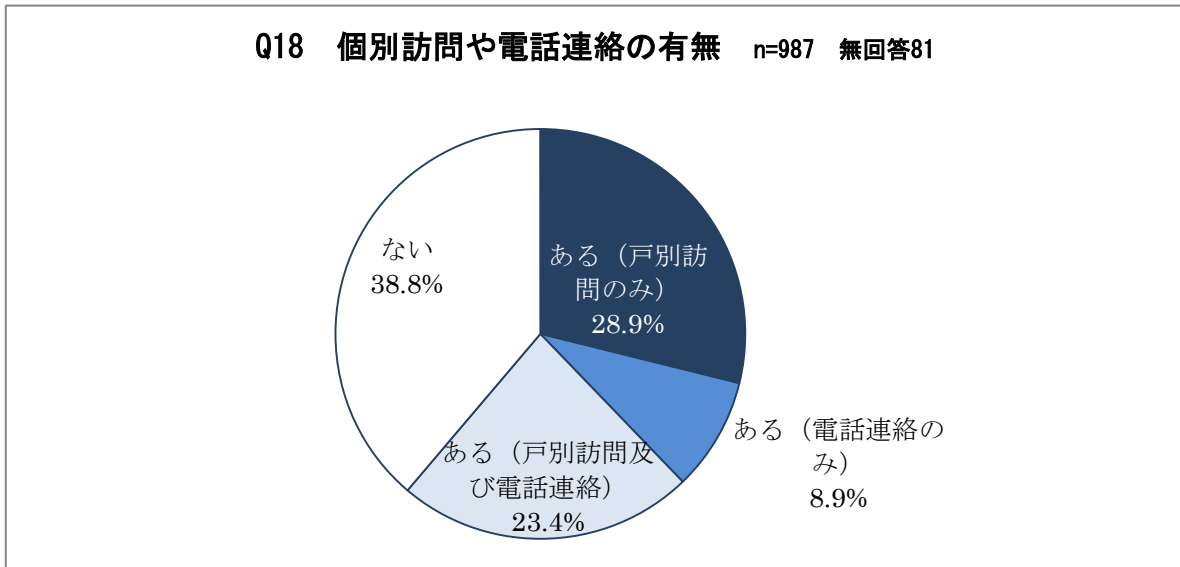


Q17 交流会やサロンに参加されていますか？

交流会やサロンの参加については、「参加していない(今後も参加する予定はない)」(54.3%)、「参加している」(25.0%)、「参加していない(今後は参加したい)」(20.6%)の順となっている。



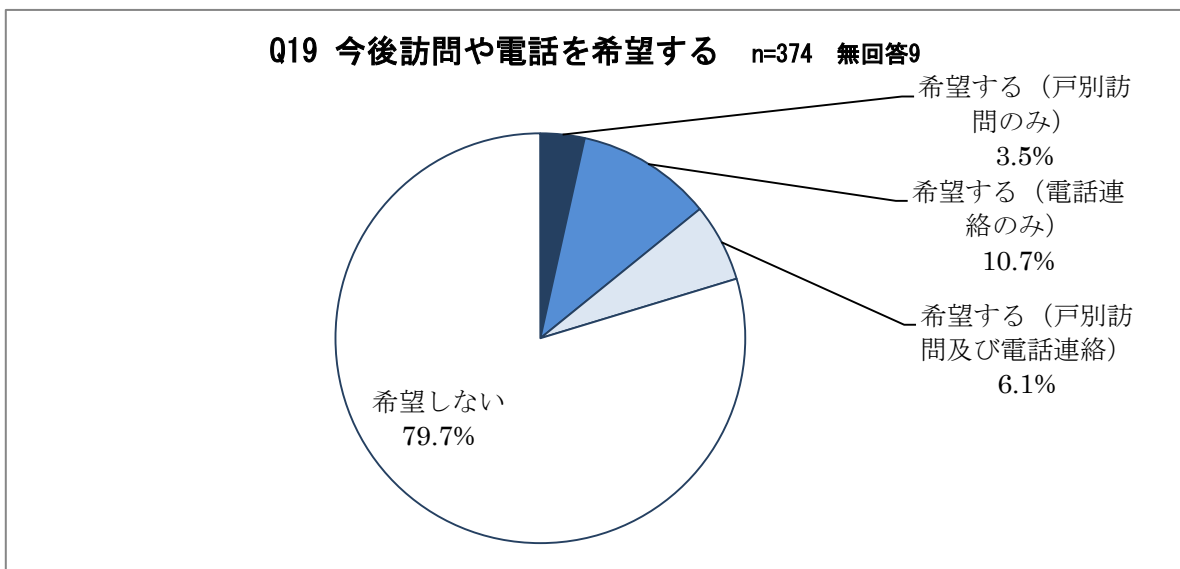
Q18 都内では、避難されている方の孤立化を防止するために、区市町村や社会福祉協議会等の支援機関により戸別訪問等が実施されています。戸別訪問や電話連絡はありますか？
 戸別訪問等の有無については、「ない」(38.8%)、「ある(戸別訪問のみ)」(28.9%)、「ある(戸別訪問及び電話連絡)」(23.4%)、「ある(電話連絡のみ)」(8.9%)の順となっている。



Q19 Q18で[戸別訪問や電話連絡がない]とお答えになった方にお伺いします。

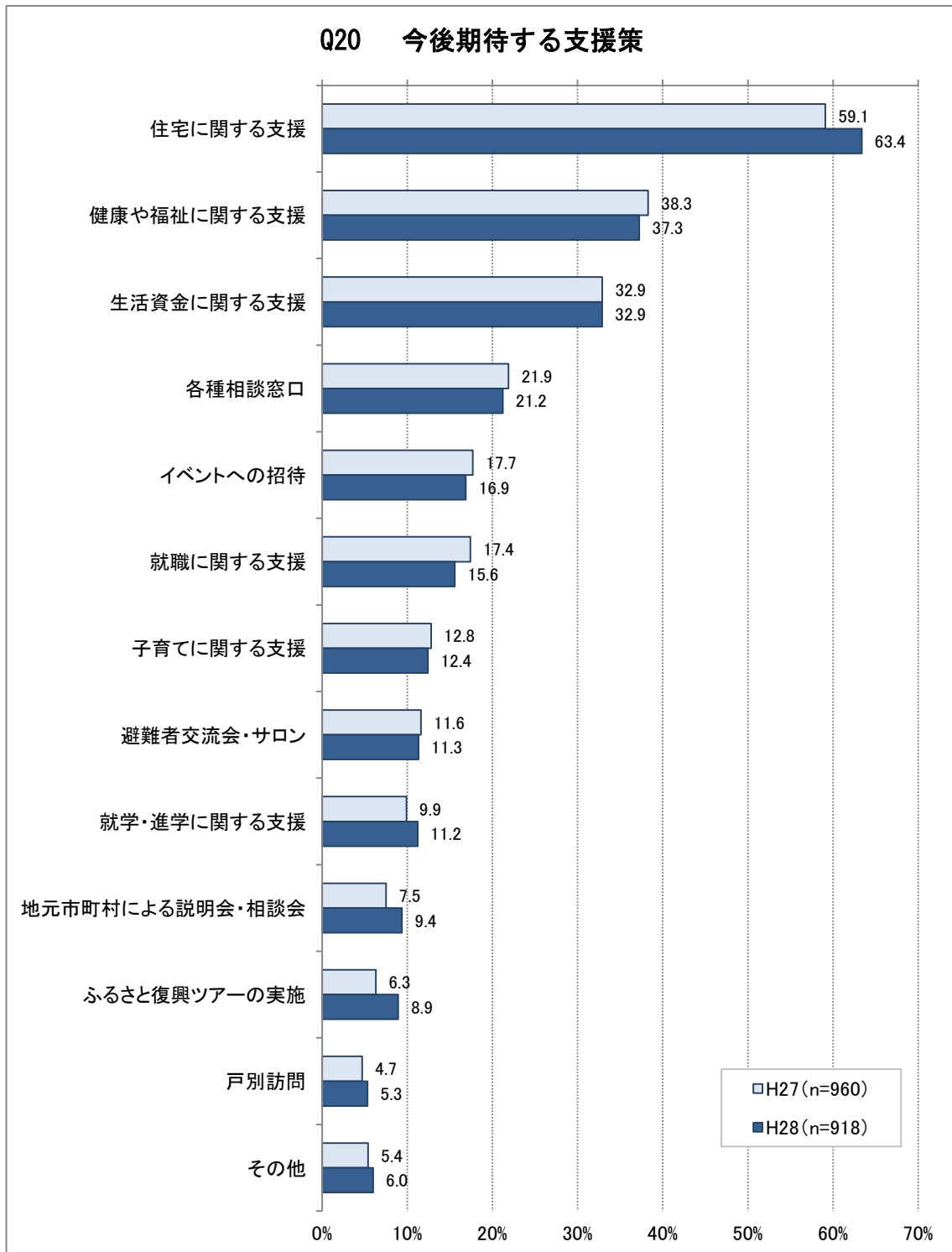
今後、戸別訪問や電話連絡を希望されますか？

戸別訪問や電話連絡の希望については、「希望しない」(79.7%)、「希望する(電話連絡のみ)」(10.7%)、「希望する(戸別訪問及び電話連絡)」(6.1%)、「希望する(戸別訪問のみ)」(3.5%)の順となっている。



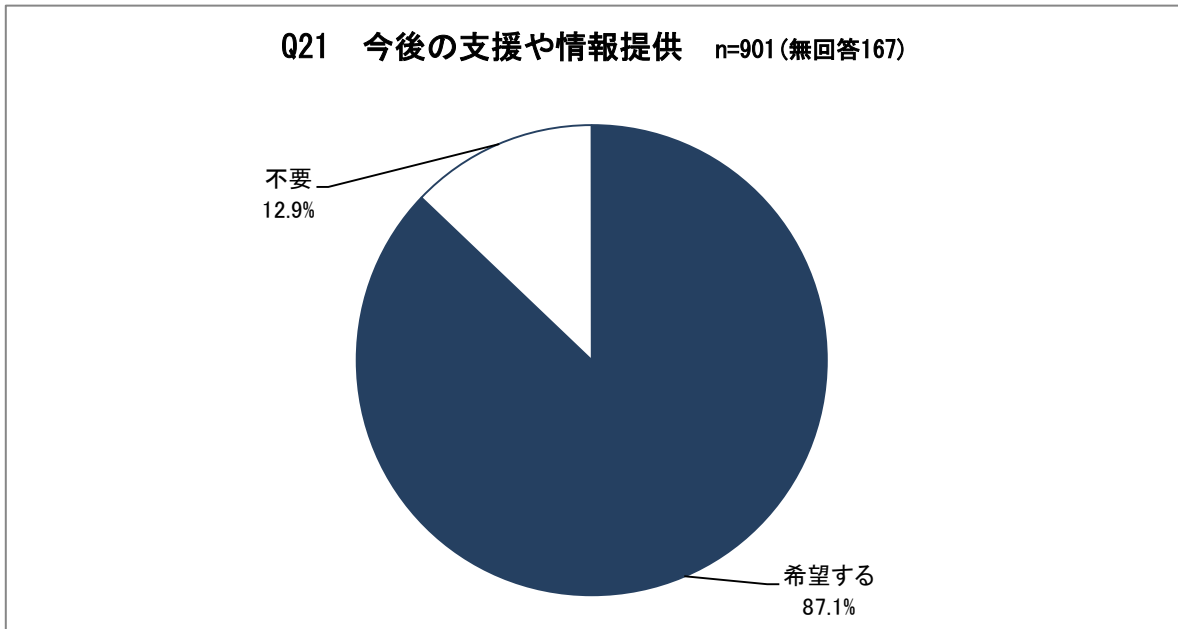
Q20 今後、都や地元県等に期待する支援策を教えてください。(複数選択可)

都や地元県等に期待する支援策について、最も多いのが「住宅に対する支援」(59.1%⇒63.4%)で、次いで「健康や福祉に関する支援」(38.3%⇒37.3%)、「生活資金に関する支援」(32.9%⇒32.9%)「各種相談窓口」(21.9%⇒21.2%)の順となっている。



Q21 今後の支援や情報提供へのお考えについて、お答えください。

今後の支援や情報提供への考えについては、「引き続き、地元や都の支援や情報提供を希望する」(87.1%)、「地元へ帰還または都内での定住を決めたので、支援や情報提供は不要」(12.9%)となっている。



(5) その他

Q22 その他ご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。

・全回答、1,068 件のうち、402 件に意見に記入があり、最も多いのが「住宅」(288 件)、次いで「健康、福祉」(128 件)、「生活資金」(115 件)の順となっている。

住宅	288 件
健康、福祉	128 件
生活資金	115 件
就職	44 件
復興の状況	44 件
子育て・教育	26 件
その他	30 件
合計	402 件

<回答いただいた主な意見>

① 住宅

- ・来年の3月末で応急仮設住宅の無料提供が終了するが、期間を延長して欲しい。
- ・5年かけてコミュニティをつくってきたので、今の場所に住み続けたい。
- ・高齢者で一人暮らしの為、支援が無くなった後の住まいがなかなか探せない。
- ・子供達を転校させずに定住したい。ゆくゆくは家族一緒に住めるように住宅を確保したい。
- ・地元に戻るにあたって、安心して生活できるまで、避難先の住まいの保証がほしい。
- ・災害公営住宅を考えているが、出来上がりが不明。明確な情報が欲しい。

② 健康・福祉

- ・高齢のため、病気になった場合が心配。
- ・高齢に伴う不調を自覚するようになった。
- ・障害者の申請や更新など、県と都ではその都度手続きが複雑。医師の対応にも大変気を使っている。
- ・医療費無料の延長を希望。
- ・今後の子供の甲状腺検査についてなど、情報がほしい。

③ 生活資金

- ・収入が少なく生活が困難。
- ・来年からの家賃の負担を考えると先行きが不安。
- ・震災前の給料と現在の給料の差額分を補償してほしい。
- ・自主避難者には補助金が全くもらえない。同じように支援がほしい。

④ 就職

- ・年齢的に就職が難しい。(採用されない)
- ・体調不良で仕事をしたくても出来ない。
- ・正社員の仕事を探しているが、非正規雇用が続いている。
- ・地元での就職が困難だった為、やむを得ず東京で働き口を探した。

⑤ 復興の状況

- ・情報をもっと詳しく知りたい。
- ・地元に戻りたいと思っているので、公営住宅の進み具合など知らせて欲しい。
- ・地元に戻った場合の支援があるか知りたい。(高齢者の一人住まいの為)

⑥ 子育て・教育

- ・これ以上子供を転校させたくない。落ち着いた環境で教育を受けさせたい。
- ・子供の教育資金面が心配。何らかの支援があるのか知りたい。

⑦ その他

- ・色々な面（生活資金、健康面など）で先行きが不安。
- ・家族で今後（帰還 or 都内定住）の意見が分かれ判断がつかない。
- ・今後もイベントに招待してほしい。美術館等の施設入場の際、優遇してほしい。
- ・東電の賠償に関する情報がほしい。

Q23 今回のアンケートについて、お気づきの点、改善点等ございましたら、ご遠慮なくご記入ください。

- ・全回答 1,068 件のうち、193 件に意見の記入があった。

<回答いただいた主な意見>

- ・5 年間に、県、自治体、都、大学病院などから、同様のアンケートを数多くとっているが、何の進展も展望も見いだせない。
- ・各自治体からくるアンケートで重複する内容がある。情報共有してもらうことはできないか。
- ・意見等を書くスペースをもっととってほしい。（選択肢の項目では選べないものもある）
- ・避難区域内と区域外とでは、支援の在り方が違うと思うので内容の検討も必要。
- ・紙のアンケートだけではなく、本当の現状を理解するために、実際に現地に行って見てほしい。
- ・一人一人の避難者に向き合っていていただき、個人個人の事情を聴いてもらいたい。
- ・気にして頂きありがたい。きめ細やかな支援アンケートに感謝している。
- ・このアンケートが生活を改善してくれることを願います。

【問い合わせ先】

総務局復興支援対策部都内避難者支援課
電話 03-5388-2384（直通）

【アンケート様式 27年度】

- ★ 各質問の該当する番号に○を付けてください。
- ★ 世帯主（主たる家計の維持者）がご記入ください。世帯主が元の住居にとどまっているなどの場合には、現在都内に避難されている方の代表者をご記入ください。
- ★ 多数のアンケート調査が実施される中、大変恐縮ですが、今後の避難生活に関するよりきめ細かい相談等に役立てるため、調査へのご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

1 ご自身及び世帯について

Q1 ご回答いただく方ご本人及び同居世帯について、ご記入ください。

住所等	現在の居所		連絡先電話番号(携帯等)
	〒 - ※現在お住まい(避難先)の郵便番号・住所は封筒と異なる場合のみご記入ください。 東京都 <記載例> 新宿区 百人町 〇-〇-〇 都営百人町〇丁目アパート 〇-〇〇〇		() —
	住宅の種類 (○印)	1 仮設住宅(公営住宅・国家公務員宿舎等) 2 仮設住宅(民間賃貸住宅) 3 自己負担による住宅(購入・賃貸等) 4 親類・知人宅 5 その他()	
	被災時の住所		被災時の住宅の種類
	県 <記載例> 福島県 いわき市 〇-〇 台 〇〇〇		1 持ち家 2 賃貸など
福島県の方のみ (避難前の居住エリア(○印))		1 原発避難(避難指示区域内) 2 原発避難(避難指示区域外)	

ご本人及び同居世帯(避難されている方)	世帯の代表者氏名		続柄	性別	生年月日・年齢		
	フリガナ		本人	(○印)	大正/昭和/平成(○印)		歳
				男/女	年 月 日		
	(就業状況 (○印))		1 正規雇用 2 非正規雇用 3 自営業または農林水産業 4 無職(求職中) 5 無職				
	(住民票の異動 (○印))		1 都内に移動した(家族全員) 2 都内に移動した(家族の一部) 3 住民票は異動していない				
	世帯の構成員氏名		続柄	性別	生年月日・年齢		
	フリガナ			(○印)	大正/昭和/平成(○印)		歳
				男/女	年 月 日		
	フリガナ			(○印)	大正/昭和/平成(○印)		歳
				男/女	年 月 日		
フリガナ			(○印)	大正/昭和/平成(○印)		歳	
			男/女	年 月 日			
フリガナ			(○印)	大正/昭和/平成(○印)		歳	
			男/女	年 月 日			
フリガナ			(○印)	大正/昭和/平成(○印)		歳	
			男/女	年 月 日			
計		人	世帯収入(※)		万円		

※世帯収入は、ご本人及び同居世帯の年間収入（給与控除前）の合計額をご記入ください。
収入は、非課税所得（東京電力賠償金や障害・遺族年金、生活保護費等）を除いてください。

2 今後の生活について

Q2 今後の居住先の予定について、お答えください。

＜応急仮設住宅（都営住宅や国家公務員宿舎、民間賃貸住宅等）にお住まいの方＞

- 帰還
- 1 概ね半年以内に、地元県内（元の自宅を含む）に戻る予定である →Q3へ
 - 2 応急仮設住宅が無償で提供されている間は現在の応急仮設住宅に住むが、無償提供が終了した場合には、地元県内（元の自宅を含む）に戻りたい →Q3へ
- 定住
- 3 概ね半年以内に、都内に自分で住宅を確保し定住する予定である →Q5へ
 - 4 応急仮設住宅が無償で提供されている間は現在の応急仮設住宅に住むが、無償提供が終了した場合には、都内に自分で住宅を確保し定住したい →Q5へ
- 移住
- 5 概ね半年以内に、地元県以外の他の道府県に自分で住宅を確保し移住する予定である →Q7へ
 - 6 応急仮設住宅が無償で提供されている間は現在の応急仮設住宅に住むが、無償提供が終了した場合には、地元県以外の他の道府県に自分で住宅を確保し移住したい →Q7へ

＜応急仮設住宅以外（自分で確保した住宅または親類・知人宅等）にお住まいの方＞

- 帰還
- 1 概ね半年以内に、地元県内（元の自宅を含む）に戻る予定である →Q3へ
 - 2 当面は現在の住宅に住むが、いずれは地元県内（元の自宅を含む）に戻りたい →Q3へ
- 定住
- 3 概ね半年以内に、都内に自分で住宅を確保し定住する予定である →Q5へ
 - 4 当面は現在の住宅に住むが、いずれは都内に自分で住宅を確保し定住したい Q5へ
- 移住
- 5 概ね半年以内に、地元県以外の他の道府県に自分で住宅を確保し移住する予定である →Q7へ
 - 6 当面は現在の住宅に住むが、いずれは地元県以外の他の道府県に自分で住宅を確保し移住したい →Q7へ
 - 7 現在の住宅に定住することを決めている →Q6へ

Q3 Q2で「1」または「2」とお答えになった方にお伺いします。

地元県内に戻る際にお考えのお住まいについて、お答えください。

- 1 元の自宅
- 2 災害公営住宅
- 3 自宅以外の場所に自分で住宅を確保（購入、賃貸等）
- 4 まだ決められない（理由： _____）
- 5 その他（ _____）

Q4 Q2で「1」または「2」とお答えになった方に引き続きお伺いします。

地元県内に戻るにあたって困っていること、不安なことについて、お答えください。（複数選択可）

- 1 希望の災害公営住宅に入れない
- 2 災害公営住宅に入居したいが、情報や相談場所がわからない
- 3 住宅を確保したいが、情報や相談場所がわからない
- 4 住宅を確保または自宅を改修したいが、費用の面で不安がある
- 5 引越費用に不安がある
- 6 特に困っていることはない
- 7 その他（ _____）

⇒Q9へお進みください

Q5 Q2で「3」または「4」とお答えになった方にお伺いします。

都内に定住する際にお考えのお住まいについて、お答えください。

- 1 自分で住宅を確保（購入、賃貸等）
- 2 親類・知人宅等に同居
- 3 公営住宅（都営住宅等）に申込み※
※ 申込みに当たっては、収入基準等の要件を審査し、抽選により入居者を決定し、使用料は有償となります。
- 4 まだ決められない（理由： _____）
- 5 その他（ _____）

Q6 Q2で「3」、「4」または「7」とお答えになった方にお伺いします。

都内に定住するにあたって困っていること、不安なことについて、お答えください。（複数選択可）

- 1 公営住宅（都営住宅等）に入居したいが情報や相談場所がわからない
- 2 住宅を確保したいが、情報や相談場所がわからない
- 3 住宅を確保したいが、費用の面で不安がある
- 4 特に困っていることはない
- 5 その他（ _____）

⇒Q9へお進みください

Q7 Q2で「5」または「6」とお答えになった方にお伺いします。

地元県以外の他の道府県に移住する際にお考えのお住まいについて、お答えください。

- 1 自分で住宅を確保（購入、賃貸等）
- 2 親類・知人宅等に同居
- 3 公営住宅に申込み
- 4 まだ決められない（理由： _____）
- 5 その他（ _____）

Q8 Q2で「5」または「6」とお答えになった方に引き続きお伺いします。

地元県以外の他の道府県に移住するにあたって困っていること、不安なことについて、お答えください。

（複数選択可）

- 1 公営住宅に入居したいが、情報や相談場所がわからない
- 2 住宅を確保したいが、情報や相談場所がわからない
- 3 住宅を確保したいが、費用の面で不安がある
- 4 特に困っていることはない
- 5 その他（ _____）

3 現在の避難状況について

Q9 現在の避難生活の状況について、お答えください。

- 1 完全に都内に生活の拠点を移している
- 2 ほぼ都内に生活の拠点を移している
- 3 都内に生活の拠点を移しているが、夫や子供など家族の一部が世帯分離して地元で生活し時々戻ってくる
- 4 都内と地元で半々程度生活している
- 5 地元で生活の拠点を置いている

Q10 現在の生活資金について、お答えください。（複数選択可）

- 1 給料・自営収入等
- 2 被災地等で仕事をしている家族の収入
- 3 貯金
- 4 年金・恩給
- 5 家族・親類・友人等からの援助
- 6 雇用保険や休業手当
- 7 東京電力の損害賠償
- 8 生活保護
- 9 その他（ _____）

Q11 現在の生活で困っていること、不安なことについて、お答えください。（複数選択可）

- 1 就職のこと
- 2 生活資金のこと
- 3 住まいのこと
- 4 健康や福祉のこと
- 5 子育て・教育のこと
- 6 生活や支援に係る情報が不足していること
- 7 避難元の情報が不足していること
- 8 避難生活の先行きが不明なこと
- 9 相談相手がいないこと
- 10 特に困っていることはない
- 11 その他（ _____）

Q12 Q11で、「3」とお答えになった方に伺います。現在の住まいに関して困っていること、不安なことについて、お答えください。（複数選択可）

- 1 住居が狭い
- 2 住居の場所が不便
- 3 設備や構造
- 4 近隣との人間関係
- 5 応急仮設住宅の入居期間が短い
- 6 その他（ _____）

Q13 就職活動（転職を含む）をしていますか？

- 1 現在、就職活動をしている。
- 2 現在は就職活動をしていないが、今後する予定
- 3 就職活動をする予定はない

Q14 Q13で、「1」または「2」とお答えになった方に伺います。どのような就業形態を希望していますか。

- 1 正社員（フルタイム）
- 2 有期の契約社員
- 3 短時間のパート・アルバイト
- 4 その他（ _____）

Q15 Q13で、「1」または「2」とお答えになった方に引き続き伺います。

いつ頃の就職（転職を含む）を希望していますか。

- 1 出来るだけ早く
- 2 半年以内
- 3 半年から1年以内
- 4 1年以降
- 5 その他

